

信州大学医学部附属病院 内科学第二教室 消化器内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年8月8日

「術後再建腸管に対するバルーン内視鏡下胆管結石治療の成績と採石困難な因子の検討」信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5582
研究課題名	術後再建腸管に対するバルーン内視鏡下胆管結石治療の成績と採石困難な因子の検討
所属(診療科等)	内科学第二教室 消化器内科
研究責任者(職名)	堀内一太郎(医員)
研究実施期間	医学部長による許可日～2025年6月末(約3年間)
研究の意義、目的	術後再建腸管症例に対するバルーン内視鏡下での胆管結石治療について解析し、完全採石が困難な要因を明らかにすることを目的とした研究で、将来の術後再建腸管症例の胆管結石治療に貢献すると考えられます。
対象となる方	2011年4月1日から2022年3月31日の期間に、術後再建腸管を有し、バルーン内視鏡下での胆管結石治療を受けられたかた。
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、検査結果、手術記録など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、術後再建腸管症例に対するバルーン内視鏡下での胆管結石治療について解析します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 堀内一太郎(内科学第二教室 消化器内科医員) 電話: 0263-32-9412

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。